

季節の中で……

おじいさんもいっしょ！

— 伝統のふき取り行事で

学校・地域が一体感—

阿武隈山系にある東和町は、良質のふきの産地として知られる。東和中学校生徒会では、そのふきを全校あげて採取し、生徒会の資金にしている。この行事は、三十年にわたるとする古い伝統を有し、今年も去る六月二十四日に全校生がそれぞれ、あるいは両親や祖父母といっしょに山に分け入り、ふき取りに汗を流した。

当日はあいにくの曇り空であったが、二年生の関光一君は、姉、妹、祖父母とともに近くの山の桑畑へ出かけ、午後遅くまでかけて、なんと百八十キログラムのふきを採取した。この日は全校で二十六トンに達し、それらは農協へ譲渡され、その収益は生徒会会計へ繰り入れられて、いろいろな行事や部活動に役立てられる。

ふき取りは手が黒くなる。しかしその黒さは東和中を一つの心につなぐ汗の勲章である。学校を核に地域で守り育ててきたこの行事が、子ども達にふるさとを愛し、自然を慈しみ、母校を愛する心をつくるとともに、県内各地の同様の活動が、生徒の自主的活動をのばす芽になってほしいものである。



— 安達郡東和町立東和中学校の「ふき取り」